



外国出張報告書

平成 27 年 3 月 18 日

- 1.出張国名 ブルキナファソ、パラグアイ
- 2.出張月 平成 27 年 1 月～3 月
- 3.出張目的 住民組織による太陽光発電点滴灌漑営農の実証及びプロジェクト設計
費策定のための調査及び各種試験の継続：A

4.成果の概要

ブルキナファソにおいて、ゲスナ村住民参加による市場向け野菜栽培活動の実証にあたって、小規模ソーラー揚水システムおよび点滴灌漑施設を導入し、乾季野菜栽培を開始した。また、用水計画の策定のため、太陽光発電量調査、点滴灌漑の灌水量調査により、ポンプ稼働時間、可能日揚水量を計算し、計画日灌水量および灌水時間を設定した。また、対象深井戸の水利用実態調査を実施し、日平均水利用量が **2,906L**であることを明らかにし、また、揚水試験を実施して乾季における上限揚水量を **1.7m³/時**に設定した。

パラグアイにおいては、農家植林による樹木成長シナリオを検討するため、パラグアリ県の農家植林地において樹木調査を実施した。また、試験圃場において、地下水位、土壌水分および樹木調査を継続するとともに、ユーカリ根の調査および土壌分析のための土壌サンプリングを実施した。また、JIRCAS 主催による「東部 5 県における植林プログラム CDM 計画策定セミナー」をカアグアス県コロネルオビエド市で開催し、研究プロジェクトの調査結果について成果発表を行った。